

令和3年11月8日（月）14：00～15：30

まちづくり課商工観光係

於：宇美町役場2階大会議室左

第2回 宇美町地域公共交通会議議事概要

1 開会挨拶

- ・会長（高場副町長）が行う。

2 報告と協議事項

(1) 前回の振り返り

(会 長) 前回の会議では、おかげ様で幅の広い意見を頂いた。現在無料で運行しているハピネス号の見直しの経過、利用者数の減少、課題が改善できていない現状の報告があった。合わせて今後の方針として、有料化を視野に入れたオンデマンドバスの導入による課題改善を図る提案があった。

これに伴うスケジュールの説明では、前回実施を予定していた見直しアンケートについて、一度委員の皆さんと協議を行ってから実施するという事になった。

今後の会議の進め方の確認をしたい。これまでの経緯の中で、利用者の方の課題の早期改善、関係機関との個別協議の日程等を考慮すると、一日でも早く現実的な代替交通計画を作り上げる必要がある。今後については、一定の方向性を定めまして会議を進めていきたい。前回申し上げた「のるーと」の導入を前提として会議を進めてよいか。ご意見有れば出していただきたい。

(委 員) (意見なし)

(会 長) 特段のご意見はないようなので「のるーと」の導入で進めさせていただきます。

(2) ハピネス号の見直しに関するアンケートについて

(事務局) 資料説明

(会 長) 修正を重ねて、最終案として提案したものが今説明したアンケートの内容である。もうちょっと修正した方がよいという意見があれば。

(委 員) 車内用のアンケート案【問4】で、なぜ100円を聞かなかったのか理由が分かった。余裕があれば、いくらだったら払えるかずっと段階を追って聞いたかったが、車内聞き取りということで難しそうなので、別の機会に期待したい。

3Pで2か所。【問2】免許返納の時期について、「3年、5年、7年以内」ではなく、「1年、3年、5年以内」くらいでいいのではないか。5年を過ぎたら「その他」の回答でいいのでは。

また、【問7】問題文の中で「新しい形態のバス」とあるが、今後導入される「のるーと」がバスと言えるか若干議論があると思うので、例えば「移動手段」くらいでいいのでは。

(委員) 【問5】の問題文の中に、「ハピネス号を利用してない理由」と、「利用している方の困っていること」の二つが並んでいてわかりにくいので、分けた方がいいのではないかと。

(委員) アンケート回収目標について、「公共施設利用者等」とあるが公共施設というのはスーパーなども含めて考えているのか。

そして、免許返納の時期についての選択肢は、運行するのが2年後の令和5年度なので、「3年以内」くらいでもいいのでは。

(事務局) 大井先生と安永さんからのご意見は反映したい。江口さんからのご提案ですが、「のるーと」の運行開始は令和4年度の2月。予定通りでいけば、1年ちょっと後なので、大井先生が言われた「1年以内」からでもいいのではないかと考える。

また、公共施設については、商業施設等や銀行などにご協力いただいて、多くの人が集まる場所で実施していきたいと考えている。年代に偏りが出ないように広い世代、ジャンルの方に回答してもらえよう工夫していきたい。

(会長) 大井先生、安永さんからの提案は修正したい。

(委員) 3P目の、ハピネス号を利用していない方への質問で、素朴な疑問として、ハピネス号の認知度はどれくらいあるのか。【問3】の選択肢に「通勤・通学」とあるので、10代の学生さんにも尋ねられるのであろうと思うが、はたして学生さんがどれくらいハピネス号を知っているのだろうか。その割合で今後の伸びしろを知ると、そこをすくえる可能性がある。400名アンケートを取るうちの知らない人はどれくらいいるのか、興味がある。それも調査するうえでは入れた方がいいのでは。【問5】の選択肢に「知らなかったから」を入れてもいいし、調査の冒頭に「ハピネス号を知っていますか」と尋ねるもの良いと思う。

(委員) 高齢者の方を意識して、【問2】返納についての設問があると思うが、この設問自体は良しとして。幅広い年齢からアンケートを取るにすれば、この設問の優先順位が上の方に来ているのではないかと。【問1】【問2】がもっと後半の方であれば、年寄り相手のアンケートではないと見えるのではないかと。

(事務局) まず、川底さんから頂いたご意見の「ハピネス号を知っているか」という質問についてですが、入れた方がよいと思うので、一番上の回答者の属性を聞くあたりに入れられたらと思う。

南里さんからいただいたご提案ですが、確かにこの質問が上の方に来てしまうと、高齢者の方に絞った調査である印象を与えかねないので、どこに入れるか工夫した形で修正したい。ご提案ありがとうございます。

(委員) 質問の順番についての提案であるが、現在【問1】が交通手段、【問3】が外出の目的・場所、【問4】が認知度に近いと思うので、この質問を変えるか別にするかで知っているか知らないか、使ったことがあるかないかを聞いていただく。【問5】の使っていない理由の次くらい、【問6】「無くなったら困りますか。」の前あたりに、【問2】免許返納の質問を入れるとちょうどいいのではないかと思う。あくまでも参考までに。

(事務局) ありがとうございます。スムーズな流れでないかと思う。頂いたご意見を反映したい。

(会長) 原案が変わってきているが、改良されている。他にご意見があれば。

(委員) ハピネス号の見直し【問7】について。通学について聞かれるとのことであるが、今の学生さんは大体7時40分とか8時前までに宇美駅から乗車している。ハピネス号の運行時間と学生さんの利用時間が若干違うので、学生さんに聞いても答えが出ないのでは。学生さんに聞きたいのであれば、運行時間の問題というものも発生するのではないか。

(会長) 登下校の時間帯の問題が出てくるが、「通学」を入れた経緯は。

(事務局) 見直しを行う中で、運行時間をどうしていくかは今後出てくる問題であると思う。現状として、現在は8時半くらいからの運行なので、確かに登校での利用の場合は外れるかと思う。ただ今後、通学で利用したいかという観点で聞きたい。下校は運行時間と重なるので、うまく聞き取りをできるように改良していきたい。

(会長) だいぶ改良が加えられてきた。あとについては事務局に一任してほしい。みなさまのご意見を反映した形で修正し協議してアンケートを実施したいと思う。

(3) スケジュール（案）について

(事務局) 資料説明

(会長) 来年度末に「のるーと」の実際の乗り入れを行い、令和5年度を実証期間と位置づけし、改良しながら、多くの住民の方に利用してもらえるような交通体系にしたいと思う。スケジュール（案）について何かあれば。

(委員) 住民説明会の時に、乗降拠点の検討をするのか。その前になるのか。

(事務局) 住民説明会では、ほぼ決定した形で説明することになる。その前段階として、地域代表の方の会議に事務局が出向いて、案を示しながらご意見いただいて修正を加え、ある程度これで、となつてからの住民説明会になる。

(委員) 我々の一番関心があるのは拠点の設定。どこの自治会も組長会議等があるので、住民説明会の前に、拠点設定に住民から意見を聴取するような、進め方はできないか。

- (事務局) 説明が足りませんでした。まずは地域活性化委員会等で素案をお示しし、地域に持って帰っていただいて、地域の意見を吸い上げていただくと。この辺を修正したらどうかとか、やり方は色々と思うので、地域の代表の方々と協議させていただきながら、どういった形で進めるのが一番スムーズか、今後意見交換させていただきたい。素案をいきなり地域の方に持っていくと、かなりいろんな意見が出て収集がつかなくなると思うので、今後相談させていただきながら、一番スムーズな形を考えていきたい。
- (会長) 先ほど口頭で説明のあった運賃、運行エリア、乗降拠点等、そういったものもこの交通会議での会議の内容となっている。
- 委員の皆様の中で、「のるーと」そのものをまだ乗ったことがない見たことがないという意見を耳にしたので、この会議の中で「のるーと」がどういうものかを紹介させていただくことも必要ではないかと思っている。
- 南里さんのほうから、利用者の立場として「のるーと」とは何たるものかのご説明頂ければと思う。
- (委員) 体験談として、「のるーと」はマイクロバスよりは小さく、狭い道でも行ける。どういう乗り方、降り方をするのかというのが不安に挙げられるだろう。利用予約に関しては、スマホでなくてもガラケーでも電話で予約でき、やってみたら簡単。初めてを乗り越えられたら、利用したくなるだろう。視察したのは、宗像市日の里団地という狭い地区だが、宇美町は広い。工夫が必要であろうなどは話していた。
- (会長) 「のるーと」そのもののなんたるかをイメージしてもらわなければならない。事務局から説明補足してください。
- (事務局) 「のるーと」は、マイクロバスのような大きいものではなく、ハイエースやキャラバンといったワゴン車の大きさを10人乗りと想定している。そのため、狭い道なども入っていただけますので、乗降場所も幅広く設定できます。
- (会長) 次回は1月中旬を予定。アンケート結果の検証となる。「のるーと」導入前に、宇美町に適した内容にしていかなければ。
- (委員) 令和5年度いっぱいを実証運行とあるが、最初から有料にするのか。
- (事務局) 移行期間と合わせて実証期間は14か月ある。現状としては、令和5年2月のスタート時点から有償とする。
- (委員) 最初の1,2か月を無償にしたり、初回の体験は無償にしたりしてはどうかと思った。
- (委員) いきなり有償でいいと思う。たとえ200円であったとしても「便利になった」感がある。
- (会長) 今後もいろんな意見を聞きながら決めていきたい。

(4) 福祉巡回バス「ハピネス号」の運行に一部変更について

(事務局) 資料説明

(委員) 前回運休日を変更した理由は何か。また、ハピネス号の契約期間1年延長についての告知スケジュールは、予算決定してからになるのか。

(事務局) 運休日の変更は、利用者アンケートに加えて、地域代表者の意見である。大きな理由は見当たらないが変更後の利用者の減少が大きすぎる。また、ハピネス号の契約延長のことについては住民は知らない。運休日の変更については、令和4年2月頃から周知したい。

(会長) 運休日を日曜日から土曜日に変更した平成29年から31年まで、日曜日の利用者が伸びない。ハピネス号としては最後の1年だが、少しでも改良ができればとの思いで運休日を土曜日に変更したいと考えているが、運休日の変更を進めてよろしいか？

(委員) 問題なし

3 その他(事務連絡)

- ・交通事業者への支援金について、10月25日の臨時会で承認された。11月15日にホームページ及び広報でお知らせする。漏れなく申請していただきたい。
- ・謝金と旅費について

(会長) 他にご意見はないか？

(委員) アンケート案の中で、100円にしたら回答が100円ばかりに集まるとのことだったが、100円も残しておいてはどうか。

(委員) 100円にすると100円に集まる。それは現実ではない。現実として、200～300円にするのが現実的。であれば、500円までだと出せるかなど聞いてみてはどうか。

(委員) 【問1】の選択肢にJRがないのはなぜか。

【問3】の選択肢に「中央公民館」とあるが「図書館」とするとつけやすいのではないか。

【問7】利用する理由として、「家族の習いごと」などがあるといい。

(事務局) 【問1】は「町内で」としている。【問3】、【問7】は検討する。

(会長) これで、本日の公共交通会議は終了する。